

平成 24(2012)年 3月 21日

独立行政法人 都市再生機構

塩竈市

東日本大震災関係

塩竈市内 2 地区で災害公営住宅建設に向け現地着手 ～塩竈市錦町地区でUR都市機構による調査着手式開催～

1 概要

平成24年3月21日、URは塩竈市から災害公営住宅の建設要請を受けた市内2地区のうち錦町地区で「塩竈市 災害公営住宅建設 用地測量・土質調査着手式」を開催しました。

東日本大震災においてURが災害公営住宅の現地着手をするのは全国初となります。



(写真) 平成 24 年 3 月 21 日、塩竈市錦町地区においてボーリングマシンを始動する
右から塩竈市の佐藤昭市長、地権者代表佐浦弘一氏、UR都市機構の小山潤
二特別参与

※ 写真データをご入用の場合は、UR都市機構宮城・福島震災復興支援事務所まで
お問い合わせください。

2 調査の概要

平成 24 年 3 月に UR 都市機構から用地測量、土質調査、基本設計の各業務を民間業者に発注しました。

用地測量により敷地面積を計測し、土質調査でボーリングにより地盤状況を把握します。これらの調査データを用いて基本設計において建物等の計画と工事費の算出を行います。

【参 考】	各調査の受注業者
(土質調査)	(株)ダイワ技術サービス
(用地測量)	(株)江合技術コンサルタント
(伊保石地区基本設計)	(株)アークポイント
(錦町地区基本設計)	(株)ディーワーク

3 全体スケジュール (予定)

平成 24 年 2 月 1 日	基本協定締結・要請受領
同 3 月～	測量、地盤調査着手
平成 24 年度～	用地取得・災害公営住宅建設工事着工
平成 25 年度中 (予定)	譲渡、入居

4 計画概要

○伊保石地区【建設戸数：約 40 戸 完成予定：平成 25 年 9 月】

- ・地元産木材を活用した多家族世帯向けの戸建住宅
- ・入居者の新たなコミュニティの形成を促す集会所と屋外計画

(配置検討案 別添 1)

○錦町地区【建設戸数：約 40 戸 完成予定：平成 26 年 3 月】

- ・高齢単身からファミリー向けまで幅広い住戸プランの集合住宅
- ・広場等において復興のシンボルとして佐浦山の桜の再生

(配置検討案 別添 2)

※ 配置検討案は、国土交通省「宮城県 (北部) における災害公営住宅の計画・供給手法に係る検討業務」により作成。

5 その他

次第 (別添 3)

○ お問い合わせは下記へお願いします。
UR 都市機構 宮城・福島震災復興支援事務所
計画調整チームリーダー 池田 電話 022 (748) 1086 (代)
塩竈市定住促進課長 阿部 電話 022 (364) 1126

塩竈市災害公営住宅

伊保石地区配置検討案

別添 1

国土交通省「宮城県(北部)における災害公営住宅の計画・供給手法に係る検討業務」

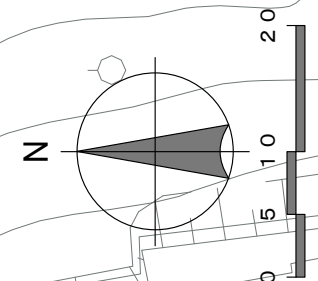


□宅地・建物概要

宅地規模：約50坪/戸

構造：木造戸建て住宅

戸数：39戸



伊保石清水沢一区
町内集会所

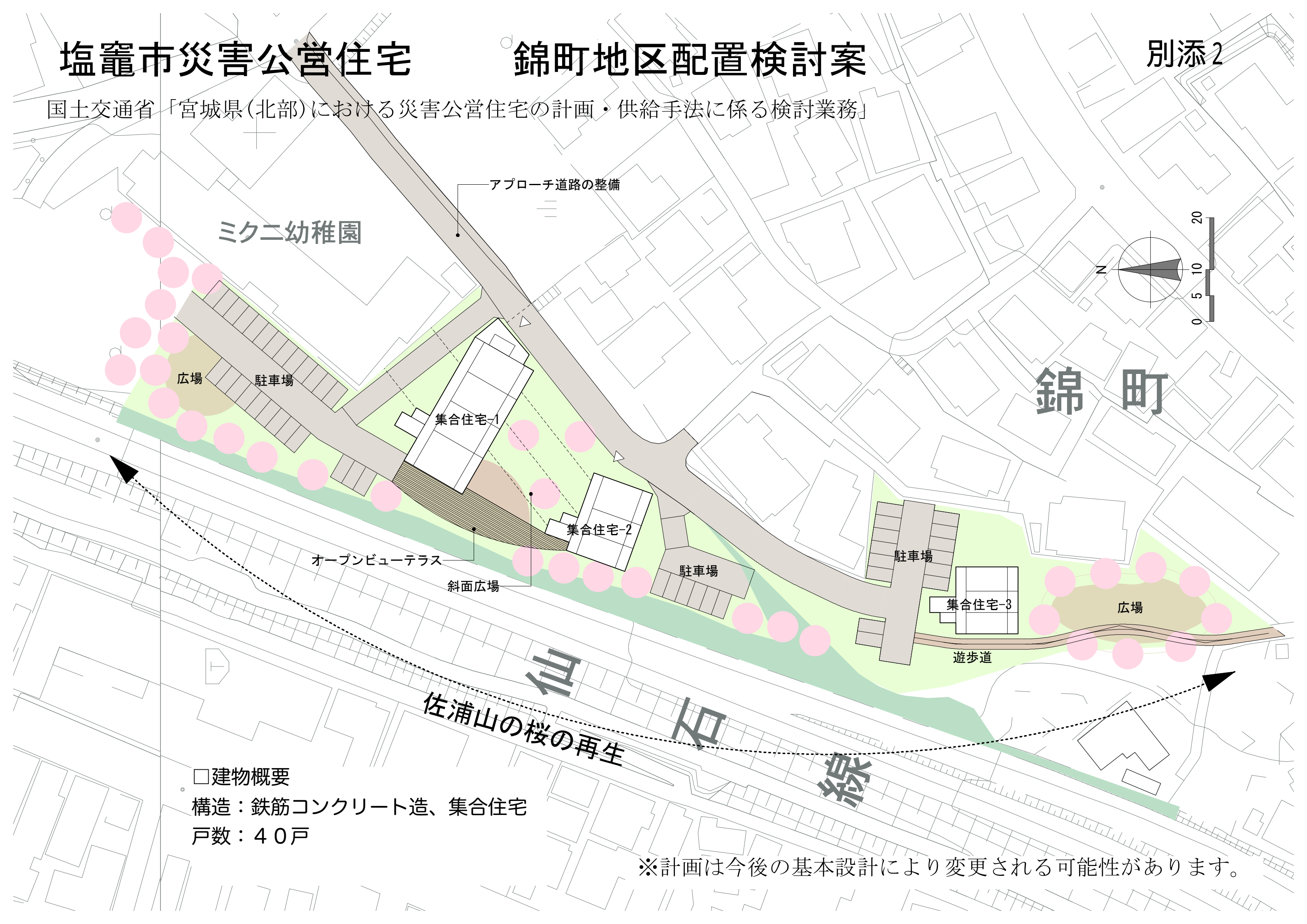
※計画は今後の基本設計により変更される可能性があります。

塩竈市災害公営住宅

錦町地区配置検討案

別添2

国土交通省「宮城県(北部)における災害公営住宅の計画・供給手法に係る検討業務」



□建物概要

構造：鉄筋コンクリート造、集合住宅

戸数：40戸

※計画は今後の基本設計により変更される可能性があります。

別添 3

次 第

一．開 会

二．あいさつ

塩竈市長

佐藤 昭

UR都市機構 特別参与

小山潤二

三．祝 辞

塩竈市議会議長

嶺岸淳一 様

四．来賓紹介

五．関係者紹介

六．調査概要説明

七．計画概要説明

八．調査着手

九．閉 会